

French ceramics at the time of Impressionism 1866-1886



Maturity of Japonisme



初公開!
アビラント家の
秘蔵コレクション

フランス 印象派の 陶磁器

1866-1886

ジャポニスムの成熟

2014年4月5日[土]~6月22日[日]

休館日:水曜日 開館時間:午前10時より午後6時まで | 入館は午後5時30分まで

主催:パナソニック 汐留ミュージアム, 朝日新聞社 後援:在日フランス大使館/アンステイチュ・フランセ日本, 港区教育委員会
協力: AIRFRANCE | 企画協力:アートインプレッション

入館料:一般800円 | 65歳以上700円 | 大学生600円 | 中・高校生200円 | 小学生以下無料
◎20名以上の団体は100円割引 ◎障がい者手帳をご提示の方、および付添者1名まで無料でご入館いただけます。

Shiodome Museum | ROUAULT GALLERY

パナソニック 汐留ミュージアム

1. ビエール・オーキストルワール(赤い服の女) | 1892年 | 油彩 | キャンバス | 東京富士美術館 2. (散る薔薇) シリーズ コンポート(部分) | アビラント社(リモージュ) | フェリックス・ブラックモン | 1876年 | 磁器 | Y&Lダルビス 3. (ウシタン) シリーズ 皿(月)(部分) | アビラント社(リモージュ) | フェリックス・ブラックモン | 1876年 | 磁器 | アビラント社 4. (影文山) 秋景(大皿) | アビラント社 | オートクイユエ | フェリックス・ブラックモン | 1874年 | ファイアンス陶器 | Y&Lダルビス 5. (レ・ボワイーズ 草花園(木柱)) | アビラント社 | オートクイユエ | 房レオン・バゾ | 1876-1883年 | ナラコック | Y&Lダルビス 6. (レ・ボワイーズ 薔薇園(花瓶)) | アビラント社 | オートクイユエ | 房ジュール・グーメル | 1876-1883年 | ナラコック | A.&T.ダルビス

フランス印象派の 陶磁器 1866-1886

ジャポニズムの成熟

French ceramics at the time of Impressionism 1866-1886
Maturity of Japonisme



アビラント家末裔の秘蔵コレクションが日本初公開



ルノワールやモネなど印象派絵画も参考出品

1874年4月、近代絵画史上最も画期的と見なされるグループ展、第1回印象派展がパリで開催されました。その出品作品のひとつであるモネの《印象、日の出》は、刻々と変化する水面の煌めきなどありのままの自然の情景が、大胆な筆致でキャンヴァスに表現されていました。当時のフランスのアカデミック美術は、忠実な模写を標榜していましたが、この絵画は精細さを欠いているとして多くの批判を浴び、このグループは皮肉をこめて「印象派」と名づけられました。同じ頃、陶芸の世界においても新しい技術やジャポニズムからの発想を生かすなど、近代性を取り入れた革新的な陶磁器が作られていました。

第1回印象派展の出品画家で銅版画家のフェリックス・ブラックモンも、日本美術の影響を受けた一人です。彼は、リモージュ磁器で知られるアビラント社の経営者で、日本美術の蒐集でも知られるシャルル・アビラントと出会い、同社の美術監督として迎え入れられると、ジャポニズムのモチーフなどを生かした伝統に捉われないデザインで才能を発揮しました。1880年代初頭には焼締陶器や銅紅釉を使用するなど新しい素材への挑戦を続け、アビラント社はフランスを代表する陶磁器メーカーとして発展しました。

そして、第1回印象派展から100年を経た1974年、「セラミック・インプレッショニスト(Céramique Impressionniste)」という展覧会がパリで開催されました。ここでは印象派絵画のような筆致で装飾された陶磁器と印象派絵画の関連が改めて注目を浴び、作品群は「印象派の陶磁器」と称され、その芸術性の高さが認知されることとなりました。

本展は、アビラント家コレクションを中心に、印象派時代の陶磁器を日本で系統的にご紹介する初めての機会です。印象派スタイルの絵付けをした陶磁器をはじめとして、19世紀後半のフランスが憧れた東洋や日本の美術が色濃く反映されたテーブルウェアや陶芸作品に加え、モネやルノワールといった印象派の絵画も展示いたします。

日本にあこがれた19世紀パリの芸術を 陶磁器など合計155点で展観

- 1.ル(ズ)ンシリーズ 雄鶴に熊蜂図皿|クレイユ・エ・モントロー陶器工場|フェリックス・ブラックモン|1867年|ファイナンス陶器
 - 2.花鳥図大皿|ジュール・ヴィエヤール工房(ポルドー)|1878年頃|ファイナンス陶器
 - 3.パルボティエス 薔薇クマメチス図花瓶、菊花図ライラック形花瓶、睡蓮アリス図花瓶、花園レンズ豆彩花瓶|アビラント社(成形リモージュ、装飾本城オート・トゥイユ工房)|アンリ・ラペールなど|1876年|ファイナンス陶器
 - 4.パルボティエス 黒地金彩花園水注|アビラント社 オート・トゥイユ工房|シャルル・アビラント|1876-1883年|テラコッタ
 - 5.天使花飾付花瓶|アビラント社 オート・トゥイユ工房|ジャン・ポール・オーベ|1876-1883年|テラコッタ
 - 6.彫文秋景図大皿|アビラント社 オート・トゥイユ工房|フェリックス・ブラックモン|1874年|ファイナンス陶器
 - 7.マントラジョワジメニエロへの道|アルフレッド・シスレー|1872年|油彩・キャンヴァス
- ◎所蔵先: 1,2,4,5,6はY.&L. ダルピス, 3はY.&L. ダルピスおよびバロン・フレイ, 7は公益財団法人吉野石膏美術振興財団

●ジュニアガイドをホームページからダウンロードしてクイズに答えよう! <http://panasonic.co.jp/es/museum/>
*ミュージアム受付に答えを書いたジュニアガイドを持ってきた人にはもちろんプレゼントがあるよ!

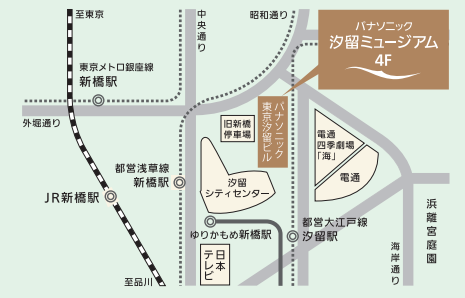
講演会
「印象派の二つのルーツ:ロココとジャポニズム」千足伸行氏 (海の見える社美術館顧問、成城大学名誉教授)
4月12日(土)午後2時~4時、パナソニック東京汐留ビル5階ホール 定員150名 ©2014年2月3日(月)より申し込みの受付を開始します。

ティーサロン 名窯アビラントの器で紅茶を召しあがりながら本展監修者による展覧会解説を楽しみませんか。
「フランス印象派の陶磁器」三浦弘子氏(滋賀県立陶芸の森主任学芸員)
5月17日(土)午後1時30分~3時、パナソニック東京汐留ビル5階ホール 定員50名 ©2014年3月17日(月)より申し込みの受付を開始します。
◎アビラント製カップ&ソーサーは先着15名様のみご使用いただけます。

●お申し込み方法 ハローダイヤル(03-5777-8600)へお電話にてお申し込みください。●受付時間 8:00~22:00
●必要事項 ①イベント名 ②氏名要:全参加希望者名 ③住所 ④電話番号 ※簡単なアンケートにご協力いただきます。
*聴講はどちらも参加無料ですが本展の観覧券が必要です。*受付は先着順、定員になり次第締め切らせていただきます。*お申し込み時にいただいた個人情報は、本イベントの受講の目的でのみ使用します。なお、お気づかりした個人情報は、上述の目的での使用に同意いただいたものとさせていただきます。*定員に達しなかった場合、当日受付をする場合があります。

学芸員によるギャラリートーク 5月10日(土)、6月7日(土) いずれも午後2時~ 参加無料(入館には展覧会観覧券が必要です)、申込不要
な。ルオーギャラリにて、当館所蔵のルオー・コレクションの中から作品を展示しております。併せてご覧ください。

次回予告 | 建築家ピエール・ジャローとガラスの家展(仮題) 2014年7月26日(土)~10月13日(月・祝)



JR「新橋」駅より徒歩約8分、東京メトロ銀座線・都営浅草線・ゆりかもめ「新橋」駅より徒歩約6分、都営大江戸線「汐留」駅より徒歩約5分

Shiodome Museum | ROUAULT GALLERY
パナソニック 汐留ミュージアム
東京港区東新橋1-5-1 パナソニック東京汐留ビル4階
お問い合わせ「ハローダイヤル」03-5777-8600
<http://panasonic.co.jp/es/museum>